

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 詩編 46:11	讃 美 歌 452 ただしく清くあらまし
讃 美 歌 82 ひろしともひろし	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 マタイによる福音書 5:1~12	主の祈り 564
讃 美 歌 122 みどもふかき	頌 栄 543 主イエスのめぐみよ
説 教 『山上の説教ー柔和な人』	祝 禱
鈴木 佳子 牧師 (谷村教会)	後 奏

世は、強い侵略性が世界を獲得すると考えるが、聖書は柔和な人がそれを受け継ぐと語ります。「柔和であれ」とは、自分を謙らせるばかりか、他人がわたしの罪を咎めるのを許し認め、一人で立つこと。わたしたちは主イエスの態度に柔和さを見ます。

「あなたがたが召されたのはこのためです。キリストもあなたの方のために苦しみを受け、その足跡に続くようにと模範を残された・・・罵られても罵り返さず、苦しめられ・・・十字架に自らその身をもってわたしたちの罪を担ってくださった」(ペトロー2章)

黒沢映画「生きる」の主人公渡辺は、余命宣告を受けて、かつて何も動かないとあきらめていた組織の中でも自分が本気でやる気になったら、自分が生きている実感がつかめるのではないかと、市役所の課長の仕事に全力を傾けていく。地域が必要としていた公園を作り上げると、組織は課長の功労を奪い、自らを誇り、渡辺は一人雪の公園に死んだ。

葬儀の場面で周囲は課長の無念を憶測するが、実際は、渡辺は公園のブランコに座り腹の底から満ち足りて歌っていた。志村喬演ずる渡辺の遺影が画面一杯に映し出され、その表情は柔和です。柔和とは、自分自身に対する真実な見方、真実な態度を、他人との関わりに表現すること。

人は心の貧しさを悟り、自分の罪を悲しむことによって、自身を真実に見つめ、誇る心があってはならないことに気づいてゆきます。自己憐憫と自己防衛は過去のものになり、もはや誰からも傷つけられることがないと、体験します。全てを神の御手に委ねるのです。不当な苦しみにあるときこそ、そうすべきなのです。

柔和な人はいつでも満ち足りています。何も待たないようであり、全てを持っている人です。貧に処する術も、富におる道も、わきまえています。柔和でありなさい。苦しみを受けていることで心を煩わせてはなりません。キリスト者はやがてキリストと共に地を受け継ぐのだから。

山梨分区講壇交換で、本日谷村教会より参りました鈴木佳子です。昨年16年ぶりに山梨分区に戻ってきました。谷村教会に着任して2年目を過ごしています。

谷村教会は、甲府から離れている立地も原因して、なかなか教会員が分区教区の集会にも参加しにくい教会の状況です。都留市は70年前に都留文科大学を誘致して、文化都市として歩んでいます。大勢の学生を抱え、人口の平均年齢もかなり若返っていると思います。教会も、多い時には学生が半数を占めることもあります。とても活気のある教会です。ただ、4年あるいは6年で学生は教会を去って、社会人となって全国に散らばります。

谷村教会で過ごした学生時代が、信仰が養われ、豊かな体験でありますようにいつも願っています。本日は山本護牧師に谷村教会の講壇に立っていただき、分区の交わりを深めていただけますことを心より感謝申し上げます。

7月の第二主日は山梨分区の聖日。この日に分区の教会が一斉に講壇交換します。でも先週は吉村トクさんの追悼コンサートがあったので、「谷村教会／八ヶ岳教会」だけ一週間遅れの今日、実施することになりました。ということで本日の礼拝は、谷村教会の鈴木佳子牧師をお迎えして説教していただきます。礼拝後の、鈴木牧師を囲んでの茶話会(何も計画していませんが、なるようになるでしょう)にも、どうかご参加ください。

7/23(水)1:00~3:00 教会カフェ(マリア・マルタの会)。次主日 7/27 礼拝後に教会規則前文の継続的な話し合い(自由参加)。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。